

大阪・夢洲地区特定複合観光施設設置運営事業

令和5年度 モニタリング結果報告書（案）

【概要版】

令和6年（2024年）7月3日

大阪府・大阪市

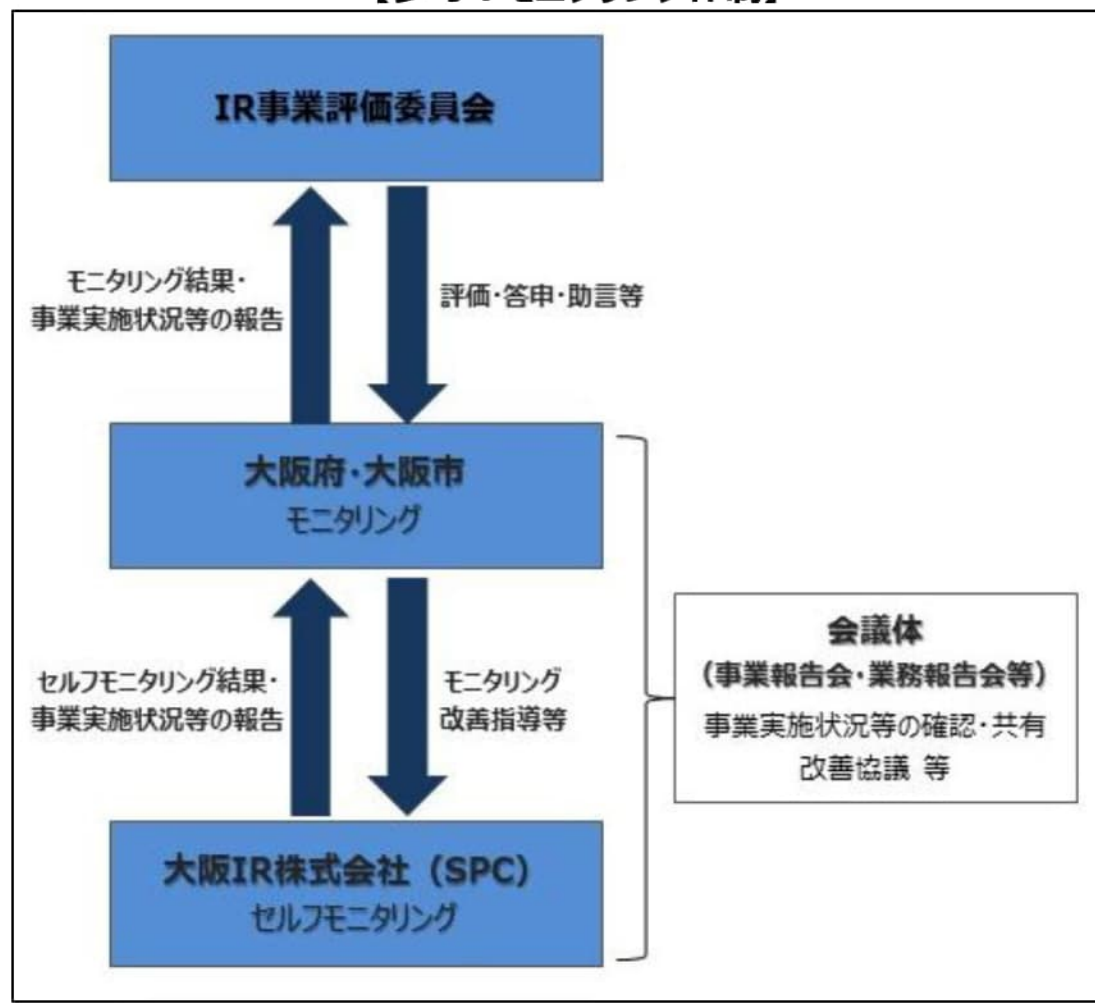
令和5年度 モニタリング結果報告書（案）の概要

1. 府市モニタリングの実施について

府及び市は、令和5年度における設置運営事業の実施状況等について、SPCによるセルフモニタリング結果を踏まえ、書類による確認、SPCへのヒアリング、会議体による確認、実地調査及びIR事業評価委員会による委員会評価等により、モニタリングを実施

書類による確認	<ul style="list-style-type: none"> SPCから提出されたモニタリング書類に基づき、設置運営事業が適正・確実に遂行されているかを確認
SPCへのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> SPCに対してヒアリングを実施し、ヒアリング内容も踏まえて、設置運営事業が、適正・確実に遂行されているかを確認
会議体による確認	<ul style="list-style-type: none"> 業務報告会及び連絡会議を開催 SPCからセルフモニタリング結果や事業実施状況の説明・報告を受け、設置運営事業の進捗状況、課題等の確認及び情報共有等を実施
実地調査	<ul style="list-style-type: none"> 液状化対策工事の現地・進捗状況等を確認するための現地確認を実施
IR事業評価委員会による委員会評価等	<ul style="list-style-type: none"> IR事業評価委員会に対して、令和5年度のモニタリング結果及び認定区域整備計画の実施状況を報告 委員会評価等を取得（予定）

【参考：モニタリング体制】



2. モニタリング結果（1/2）

【総括】

- 令和5年度における設置運営事業の実施状況等について、法令等、関連協定及び本事業関連書類に基づき適正かつ確実に遂行されていることを確認
- また、令和5年度の事業実施状況等について、事業継続の阻害要因その他是正要求措置が必要と認められるような事項は見当たらなかった。

【設計・建設等モニタリング】

(1)設計・建設等の実施体制	<ul style="list-style-type: none">・ 専門人材を有する中核株主や国内外での豊富な実績と専門的知見を有した設計会社等からの支援と、中核株主による設計会社の業務遂行の監督等により、設計等業務を実施する上で必要な体制を適切に構築
(2)設計・建設等の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・ 令和5年10月に環境影響評価準備書の提出が行われたほか、各IR施設につき基本設計を経て実施設計に着手する等、認定区域整備計画に記載したIR事業の工程に沿って、設計等業務が進捗していることを確認・ 各IR施設について、設計の進捗等に伴い、一部規模・諸室配置等の見直し（政令要件の適合に影響するものではない。）を検討している施設があるが、基本的には認定区域整備計画に記載した各IR施設の計画内容に沿って、設計等が実施されていることを確認
(3)関係者との協議等の状況	<ul style="list-style-type: none">・ 夢洲等まちづくり事業調整会議（下部に設置された夢洲関連部会及びワーキングを含む。）に参画したほか、連絡会議、業務報告会等の定期的な協議・調整の場や緊急連絡体制を整備・ 府及び市その他関係者との間で適切に連絡・調整を行いながら、各種業務を実施

令和5年度 モニタリング結果報告書（案）の概要

2. モニタリング結果（2/2）

【開業準備モニタリング】

(1) SPCの事業実施体制	<ul style="list-style-type: none">SPC社内体制は、中核株主から派遣された代表取締役2名及び監査人1名の計3名SPC代表取締役による指揮命令・意思決定の下、中核株主や協力会社からの支援等により、必要となる設計等業務を実施する上で十分な実績・ノウハウ・運営能力を備えた事業実施体制を構築
(2) IR整備法及び関連協定に定める手続の履践状況	<ul style="list-style-type: none">IR整備法及び関連協定に定める手続が、適切に履践されていることを確認
(3)反社会的勢力の排除	<ul style="list-style-type: none">反社会的勢力排除のための行動指針を作成・運用IR事業の各種業務に係る契約の締結等に際しては、中核株主における信用調査等により、反社会的勢力を排除するための措置を実施

【財務モニタリング】

(1) SPCの資金調達状況	<ul style="list-style-type: none">令和5年度においては、金融機関との間で5,300億円のシニアローンの融資契約、少数株主（22社）との間で計1,270億円の株式引受契約が締結される等、着実に資金調達が進捗
(2) SPCの財務状況	<ul style="list-style-type: none">IR施設の営業の開始前であることから、令和5年度において、SPCは129億円の当期純損失を計上しているが、必要な資金需要に対しては、中核株主の出資により適切に対応
(3)初期投資の実行状況	<ul style="list-style-type: none">初期投資額約1兆2,689億円（見込み）に対して、令和6年3月末時点において、中核株主からSPCに対して、累計241.65億円を出資

【本件土地課題対策の実施状況の確認】

- 令和5年度末時点において、液状化対策工事が計画工程どおり進行していること、大阪・夢洲地区特定複合観光施設用地に係る土地改良事業に関する協定書に従い、必要な手続等が行われていることを確認

3. 是正要求措置

- 令和5年度の事業実施状況等について、事業継続の阻害要因その他是正要求措置が必要と認められるような事項は見当たらなかった。

参考：大阪 I R 株式会社の財務報告書（概要）

○財務報告書について

- 認定設置運営事業者等（大阪 I R 株式会社）は、事業年度ごとに、財務報告書を認定都道府県等（大阪府）の同意を得て、事業年度経過後 3 月以内に国土交通大臣に提出【IR整備法28条 4 項】

提出先	国土交通大臣
提出日	2024年6月26日
事業年度	第1期 (自 2023年4月14日 至 2024年3月31日)
名称	大阪 I R 株式会社
代表者の役職氏名	代表取締役 エドワード・パウワーズ 代表取締役 高橋 豊典
本店の所在の場所	大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23号
(添付書類)	<ul style="list-style-type: none">財務報告書の添付書類(定款、監査人事業監査報告、監査人財務監査報告、公認会計士等監査報告書、内部統制監査報告書)財務報告に係る内部統制報告書確認書

＜大阪府による財務報告書の同意＞

- 大阪府は、事業年度（第1期）における財務報告書等について、四半期毎に行った四半期報告書等のモニタリング結果（同意）も踏まえてモニタリングを実施の上、同意
- 四半期報告書等及び財務報告書等のモニタリングに当たっては、専門性を有した外部アドバイザー（公認会計士を含む）からの支援を受け、外部アドバイザーから財務報告書等に関する確認結果を受領

※特定複合観光施設区域整備法

第28条（認定設置運営事業者等が行う業務の会計）

- 認定設置運営事業者等は、国土交通省令で定めるところにより、事業年度ごとに、次に掲げる事項を記載した報告書（以下この条において「財務報告書」という。）を、認定都道府県等の同意を得て、当該事業年度経過後三月以内（やむを得ない理由により当該期間内に提出することができないと認められるときは、国土交通省令で定めるところによりあらかじめ国土交通大臣の承認を受けた期間内）に、国土交通大臣に提出しなければならない。

参考：大阪 I R 株式会社の財務報告書（概要）

○貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部		主な内訳	負債の部		主な内訳
流動資産			流動負債		
現金及び預金	842		未払金	15,671	融資関連費用13,947、その他1,723
未収消費税等	1,297		未払法人税等	126	事業税（資本割）124
その他	5		その他	28	
流動資産合計	2,145		流動負債合計	15,826	
固定資産			固定負債		
有形固定資産			固定負債合計	—	
建設仮勘定	6,149	IR施設の設計費等	負債合計	15,826	
有形固定資産合計	6,149		純資産の部		
投資その他の資産			株主資本		
差入保証金	15,178	大阪府 1,270：実施協定	資本金	12,082	
		大阪市 13,908：借地契約	資本剰余金		
長期立替金	3,357	大阪市 土地課題対策工事費	資本準備金	12,082	
投資その他の資産合計	18,535		資本剰余金合計	12,082	
固定資産合計	24,684		利益剰余金		
			その他利益剰余金		
			繰越利益剰余金	△ 13,161	
			その他利益剰余金合計	△ 13,161	
			株主資本合計	11,003	
			評価・換算差額等		
			評価・換算差額等合計	—	
			純資産合計	11,003	
資産合計	26,829		負債・純資産合計	26,829	

参考：大阪IR株式会社の財務報告書（概要）

○損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

損益計算書		主な内訳
営業収益	—	
営業費用	205	租税公課131、業務委託費53
営業損失（△）	△205	
営業外収益		
その他	0	
営業外収益合計	0	
営業外費用		
融資関連費用	12,707	金銭消費貸借契約の締結に伴う諸手数料
その他	81	
営業外費用合計	12,788	
経常損失（△）	△12,994	
特別利益		
特別利益合計	—	
特別損失		
特別損失合計	—	
税引前当期純損失（△）	△12,994	
法人税、住民税及び事業税	2	
法人税等調整額	—	
法人税等合計	2	
当期純損失（△）	△12,996	

キャッシュ・フロー計算書		主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失（△）	△12,994	
融資関連費用	12,707	金銭消費貸借契約の締結に伴う諸手数料
その他	176	
小計	△111	
法人税等の支払額	△0	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△111	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,501	IR施設の設計費等
保証金の差入による支出	△14,528	大阪府：実施協定 大阪市：借地契約
その他	△3,292	土地課題対策工事等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,321	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	23,218	日本MGMリゾート50% オリックス50%
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,218	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	
現金及び現金同等物の増減額	785	
現金及び現金同等物の期首残高	57	
現金及び現金同等物の期末残高	842	